

# いなべ市小規模事業者景気動向調査

(令和6年4月～6月の景況)

いなべ市商工会

## 1 調査概要

調査時期	令和6年6月
調査地域	三重県いなべ市
調査企業数	49社（内訳 サービス業8社 飲食業7社 卸・小売業14社 建設業8社 製造業12社）

### 2-1 総論

日本銀行が発表した令和6年6月の全国企業短期経済観測調査（短観）によると、大企業・非製造業の業況判断指数（DI）が4年ぶりに悪化した。歴史的な円安による原材料価格の高騰や、人件費の高騰が原因とされる。特に、小売業の悪化が顕著であった。一方で、大企業・製造業のDIは改善された。円安の進行で輸出企業の利益が増加したことと、価格転嫁が進んだことが原因とされている。

今回調査時の円相場は1ドル160円前後と円安が加速している。今日の歴史的な円安と人材不足、高止まりする原材料価格と仕入価格、輸送価格の上昇などが企業経営を圧迫している。また、物価高は消費者の購買意欲を減退させ、消費の低迷が懸念されている。

このような経済状態のなか、令和6年4月以降の景況をいなべ市内の小規模事業者から聞き取り、調査を行ったので、以下にその結果を報告する。

なお、以下で「今期」とは令和6年4月から令和6年6月を、「前年同期」とは令和5年4月から6月を、「前期」とは令和6年1月から令和6年3月をいう。

### 2-2 飲食業 7社

改善傾向を維持しているが、経費の増加で採算が悪化している

#### (1) 売上（収入）額

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	5	3	4

減少	0	1	0
----	---	---	---

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	2	3
減少	1	2	0

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	3	4
減少	0	0	0

前年同期と比べると大幅に増加しており、前期と比べても増加している。

## (2) 客単価

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	1	3
減少	0	0	0

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	0	2
減少	0	0	0

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	1	4
減少	0	0	0

悪化傾向にあった前回調査時と比べ改善している。

## (3) 利用客数

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	3	5
減少	0	1	0

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	2	3
減少	1	2	0

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	3	3

減少	0	0	0
----	---	---	---

利用客数はやや改善している。

(4) 資金繰り

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	0
悪化	0	0	0

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	0	1	0

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	0
悪化	0	0	0

資金繰りは変化がない

(5) 採算（経常利益）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	2	2
悪化	2	2	0

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	2	1
悪化	1	1	1

採算に関しては、悪化傾向にある。

(6) 業況（自社）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	2	3
悪化	0	1	0

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	2
悪化	1	1	0

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	2
悪化	0	0	1

業況に関しては、ほぼ変わらない。

#### (6) 小括

飲食店に関しては、前回、前々回調査時に引き続き好調さを保っている。しかし、仕入単価の上昇、人件費の増加で採算が圧迫されている。また、土日勤務する従業員の確保が難しいなど、従業員の確保難を経営課題としてあげる企業も多い。

### 2-3 サービス業 8社

利用客数が増加し、業況は改善している

#### (1) 売上（収入）額

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	2	4
減少	4	4	4

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	3	2
減少	3	4	2

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	0	0	4
減少	2	3	2

前回調査時とほぼ同様の結果となった。

#### (2) 客単価

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	0	3	2
減少	2	2	1

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	1	1

減少	3	3	1
----	---	---	---

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	0	1	2
減少	3	2	1

前年同期と比べ増加したと回答する企業がなくなり、来期の見通しも厳しくなっている。

### (3) 利用客数

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	1	2
減少	3	5	4

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	2	1
減少	4	4	2

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	0	0	3
減少	3	3	2

前年同期と比べ改善傾向にある。

### (4) 資金繰り

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	3	5	3

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	0
悪化	2	6	2

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	1
悪化	3	2	2

資金繰りはやや改善傾向にある。

(5) 採算（経常利益）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	3	6	3

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	1
悪化	3	4	2

前回調査時より改善傾向にある。

(6) 業況（自社）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	1
悪化	3	4	4

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	1
悪化	2	4	2

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	2
悪化	3	1	2

前期と比べ改善しているが、来期の見通しは厳しい。

(6) 小括

前回調査時同様、仕入れ単価等の経費の増加をあげる企業が多く、従業員の確保難や需要の停滞を問題点としてあげる企業が増えている。

## 2-4 小売業14社

採算が悪くなり、業況が悪化傾向にある

(1) 売上額

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	4	5	3
減少	5	5	6

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	4	2
減少	5	6	5

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	2	2
減少	4	8	6

前回調査時と比べほぼ変化がないが、来期の見通しは改善している。

(2) 客単価

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	4	4	4
減少	3	1	2

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	4	3
減少	4	1	3

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	1	3
減少	3	1	2

改善傾向にあった前回調査時に比べ悪化している。

(3) 客数

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	3	0
減少	10	6	8

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	3	1
減少	8	5	6

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	0	0	1
減少	5	7	7

改善傾向にあった前回調査時と比べ大幅に悪化している。

(4) 資金繰り

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	1	1
悪化	0	2	2

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	0
悪化	1	3	3

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	2	3	2

前年同期、前期とも、前回調査時同様、ほとんどの企業が不変と回答している。来期についても、前回調査時同様、ほとんどの企業が不変と回答している。資金繰りに関しては、前回調査時とほぼ変化がない。

(5) 採算（経常利益）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	2	0
悪化	7	5	4

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	0
悪化	6	3	2

徐々に悪化しており、来期の見通しはさらに悪化すると回答する企業が多い。

(6) 業況（自社）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	1	0
悪化	4	5	6

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	0



悪化	3	1	1
----	---	---	---

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	1	0
悪化	2	3	2

前期と比べ悪化傾向にある。

#### (7) 小括

経営上の問題点として、仕入単価の上昇をあげる企業が多かった。今後も仕入れ価格の上昇が予想されるが、価格転嫁が困難であり、利益率が減少するとの声があった一方、メディアの影響で客数が増えたという声もあった。

## 2-5 建設業 8社

業況は悪化している

#### (1) 完成工事額

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	6	2
減少	2	4	4

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	4	1
減少	2	4	3

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	3	3
減少	4	3	3

前回調査時は改善傾向にあったが、来期の見通しが厳しくなっている

#### (2) 受注額

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	4	2
減少	2	3	5

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
----	-------	-------	--------

増加	2	1	3
減少	4	2	4

前回調査時は改善傾向にあったが、悪化傾向にある

(3) 材料仕入単価

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	5	9	1 1
減少	0	0	0

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	8	7
減少	1	0	1

前年同期と比べ、減少したと回答する企業はなかったことは前回、前々回調査時同様である。来期に関しても、ほとんどの企業が変化なしと回答している。よって、材料仕入れ単価については高止まり傾向にあるといえる。

(4) 採算（経常利益）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	2	0
悪化	4	2	4

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	2	0
悪化	4	1	5

前回調査時には改善傾向にあったが、再び悪化している。

(5) 業況

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	4	0
悪化	4	2	3

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	3	0
悪化	4	1	2

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
----	-------	-------	--------

好転	0	2	2
悪化	4	3	3

(1)～(4)の各数値が表す通り、改善傾向にあった前回調査時と比べ、業況に関しては、悪化傾向にあるといえる。

#### (6) 小括

資金の借入難度については、回答した企業はすべて不変と回答している。材料価格の上昇を経営の問題点に挙げる企業が多いことは従来の調査時と同じであるが、需要の停滞をあげる企業が増えてきた。下請け業者の確保難、技術職の高齢化、働き方改革に伴う現場の混乱を経営の問題点としてあげる企業が多かった。

## 2-6 製造業 12社

売上が増加傾向にあり、業況はやや改善傾向にある

#### (1) 売上額

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	6	4
減少	7	7	5

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	3	6
減少	4	9	4

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	4	2
減少	7	6	5

前年同期と比べると悪化傾向にあるが、前期と比べると、改善傾向にある。しかし、来期の見通しは悪いとの結果となった。

#### (2) 売上単価

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	4	4	3
減少	0	0	1

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	2	1	2
減少	0	3	0

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	1	2
減少	2	3	1

前期と比べ改善傾向にあり、来期の見通しも若干であるが改善傾向にある。

### (3) 売上数量

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	4	4
減少	7	8	5

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	3	2	5
減少	5	8	3

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
増加	1	3	1
減少	8	6	5

前期と比べ改善傾向にあるが、来期の見通しは厳しい。

### (4) 資金繰り

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	7	4	1

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	0
悪化	6	4	4

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	7	5	2

前回調査時同様、前年同期とくらべ悪化したと回答する企業が増加してい

る。そして、前期と比べ悪化したと回答した企業が増加している。また、来期は悪化すると回答した企業が前回調査時より増加している。よって、前回調査時同様、資金繰りは悪化傾向にあるといえる。

(5) 採算（経常利益）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	0	0	0
悪化	6	5	6

来季	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	0
悪化	6	5	5

前回、前々回調査時と異なり、来期は好転すると回答する企業が1社あったが、状況は変わらないと考えられる。原材料仕入れ単価が上昇したと回答する企業が8割に及んでいることから、材料価格の上昇が慢性化し、採算は慢性的に悪化傾向にあるといえる。

(6) 業況（自社）

前年同期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	2	2	0
悪化	7	8	4

前期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	1	0
悪化	4	6	4

来期	今回の調査	前回の調査	前々回の調査
好転	1	0	0
悪化	6	3	2

前回調査時と比べ、やや改善傾向にあるものの、来期の見通しは厳しくなっている。

(7) 小括

前回、前々回調査時同様、原材料価格が増加もしくは高止まりしていると回答し、経費が増加していることを問題点にあげている企業がほとんどである。経営上の問題点として、住宅関係の工事について、先行きの不透明感があるこ

と、顧客ニーズが変化していることを上げる企業があった。また中国向けの大口の輸出が伸び悩んでいることに不安を感じる企業もあった。従業員の確保難、高齢化のほか、需要の停滞を経営上の問題点としてあげる企業も、前回調査時同様多かった。

### 3 総括

今回の調査では、小売業と建設業で、業況の悪化傾向がみられた。そして、需要の停滞をあげる企業が徐々に増えており、消費の低迷が懸念される結果となっている。原材料価格の高騰に関しては、今回の調査でも、ほとんどの企業が経営の問題点としてあげていることから、物価高騰対策がますます重要となっている。

以上